

九州ブロッククラブネットワークアクション2024

次代の人材確保・育成について
～人が育ち クラブが育つ～

NPO法人希楽々
理事長 渡邊 優子

スポーツマーケット

KIRARA

20年続く集大成イベント

830人の参加者 & 60人のスタッフ

多様なブース

- ・企業(ヤクルト & 赤十字社)
- ・大学(医福大、リハ大、県立大)
- ・県障害者スポーツ協会
- ・アフタースクール生
- ・学童保育所
- ・子育て支援センター
- ・ダンスチーム
- ・キッチンカー



大学と包括連携協定の締結

KIRARA

新潟リハビリテーション大学

連携体制

- ・授業の臨時講師
- ・希楽々の理事
- ・イベント協力

協定締結

- ・保健、医療、福祉
- ・教育、文化、スポーツ
- ・地域貢献、まちづくり
- ・人材育成



陸上競技の普及発展に

阿部昌彦さん希楽々に寄付

子どもたちのスポーツ環境社会全体で

村上市の陸上競技の普及、発展に役立ててもらおうと16日、飯野に住む阿部昌彦さん(90)が総合型地域スポーツクラブNPO希楽々(渡邊優子理事長)を訪ね10万円を寄付した。

をさ

見て、「新潟県勢の中に一人でも村上市から出ていたら、村上の人は応援するだろうなと思った」と話し、「村上新聞に載った『希楽々 総合型部活動』陸上も4月から」の記事を見て村上のまちを元気にする良い機会だと思った。チームでトレーニングするとき、村上の町なかを走ってもらいたい。それを見た市民は応援するだろうしお互いの励みになる。気持ちだけが、陸上競技のために役立てていただきたい」と渡邊理事長に手渡した。

渡邊理事長は「この事業を記事にさせていただいたこと。阿部さんがそれを見て賛同し寄付金までいただいたことに感謝しています。社会全体で子どもたちの環境を作っていけるようなそんな村上市になればいいと思っています。まず一歩動き出すところから始めていきたい」と述べた。阿部さんは元高校教師。偶然にも渡邊理事長はその教え子(村上女子高)だったことが当日分かった。奇遇な巡り合わせに二人とも感激し、再会を誓っていた。



寄付金を手渡す阿部さん(右)

融合型陸上も4月始動

希楽々 小中高が合同練習会

村上市の総合型地域スポーツクラブNPO希楽々(渡邊優子理事長)村上市部活動総括コーディネーター、スポーツ庁・地域スポーツクラブ活動アドバイザーは先月27日、神林総合体育館で「合同陸上練習会」を開いた。村上市陸上競技協会が主催。

村上市ではスポーツ庁や文化庁が策定したガイドライン等をもとに、中学部活動の2026年度完全移行を目指して模索。市内でも希楽々が請じている様々な仕掛けは、全国的にも先進事例とされている。

る。

今回は、昨夏に続く第2弾として、陸上合同練習会を企画。4月からは融合型部活動に陸上も加わることで、競技環境のシームレスな構築を鑑み小学5、6年生も対象としたワンチーム化を図ることか

月刊デジタル情報誌

村上広域情報誌 2001

デジタル情報誌村上

村上市飯野 1-3-31

ら、市内小中学生のほか村上高、村上桜ヶ丘高の陸上部員も招き、異年齢が交歓する練習会となった。



オフシーズンならではのメニューをこなした

や筋肉など体の動きスムーズにしたり、敏捷性を高めるトレーニングや筋力アップなど、オフシーズンならではの力を蓄えるメニューをこなしていた。今回は24日(土)に催。4月からは本格助する。

希楽々では、新潟療福祉大などから専門的知見を得た地域クラブ活動のための「指導者育成プログラム」展開中。子どもたち活動を真ん中に置き、地域学校、総合型クラブ等が足みを揃える、新しい環境が後さらに求められる。

重点地域における政策課題に取り組む

KIRARA

全国で7件 新潟県村上市

- ①地域で所有する車両を活用した移動手段の確保
 - ②障がいの有無に関係ないインクルーシブな活動の確保
- ### 「スポーツ振興車」の活用と障がい者教室等の開催

地域クラブ活動への移行に向けた実証事業（重点地域における政策課題への対応）



事業内容

- ▶ 地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定。当該都道府県が主体となって関係者や専門家等で構成する推進会議を設置し、域内の市区町村等と協力して課題の解決に向けた取組を試行することで、他の地域でも参考となるような課題の解決方法を見いだす。
- ▶ 取組の成果等についてシンポジウムや報告書等を通じて情報発信し、全国的な取組を推進。
- ▶ 本事業を実施する都道府県は、以下の10の政策課題から解決に向けて取り組むものを少なくとも3つ選択し取組を実施。



採択状況

- ▶ 本事業の実施を希望する都道府県を公募し、有識者で構成する選定会議における審査を経て、7県（公募のあった全ての申請）を採択。

各県が設置する推進会議等
・課題の解決に向けて試行する
取組内容の具体化・進捗管理
・取組の分析・検証
・今後の改善策や方向性の検討、
報告書のとりまとめ 等を行う

香川県

東かがわ市、高松市

- 取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- ・主な取組内容（予定）
 - ・スクールバスの活用、単独車管理の強化
 - ・企業協賛と納税、クラウドファンディングの活用
 - ・試合会場周辺に限り、他県利用との交通の便としての大会を開催

福岡県

宗像市、桂川町

- 取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- ・主な取組内容（予定）
 - ・市内の大学や企業を基盤としたネットワークの構築
 - ・人材・施設等を活用
 - ・労務管理・食費徴収等の機能を一元化したアプリを開発、地元企業からの協賛金を運営費として活用

熊本県

南阿蘇、大津町

- 取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- ・主な取組内容（予定）
 - ・生徒の志望や体力等に合わせた運動種目の体験会の開催
 - ・大学生の活用、研修会の実施
 - ・オンライン型指導やライブ指導の実施

沖縄県

宜野湾市、石垣市、うるま市、糸満市、南城市、宜野座村

- 取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- ・主な取組内容（予定）
 - ・小・中学生共通プログラムによるスポーツ活動
 - ・県内外トレーナーと連携し、指導者研修会のプログラム化、教本化を実施
 - ・スマートDxの活用、学校体育施設のICT化

※県から当該自治体のスポーツ協会、総合型地域スポーツクラブに直接委託して実施予定。



4歳～81歳のフラガール

KIRARA

ハワイアンフェスティバル IN 瀬波 最近引っ張りだこの「キッズ&熟女」たち



村上市の総合型クラブ

KIRARA

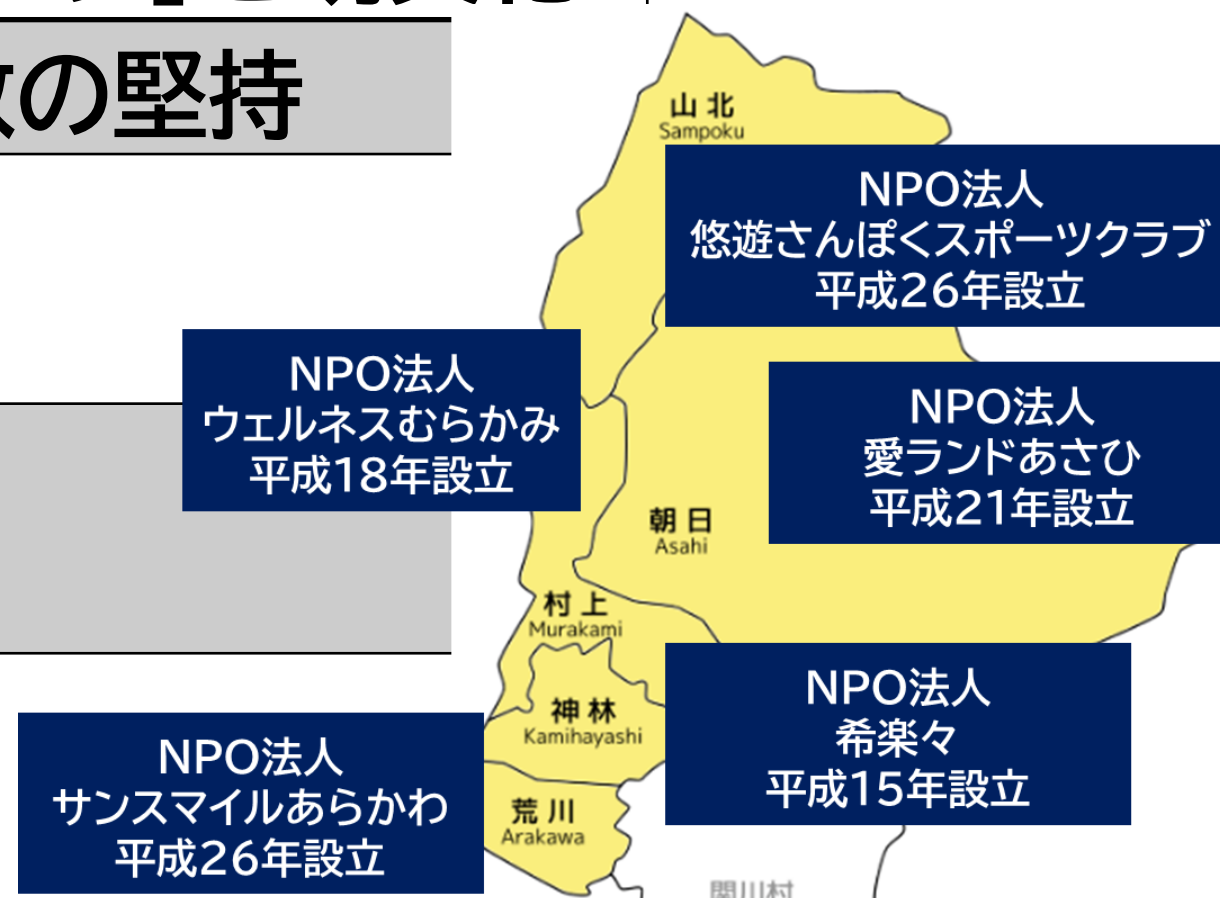
総合計画・スポーツ推進計画
教育基本計画で「総合型クラブ」を明文化

財政基盤の確立と健全財政の堅持

行政とのパートナーシップ
政策的合意形成

体育施設の指定管理
事業委託

5つの総合型クラブ
クラブ間の温度差



クラブ紹介

KIRARA

平成15年設立 21歳

正職員 15名 パート 44名
会員 1,149名

予算規模 1億6千万円

指定管理施設
体育施設9施設
学童保育所・子育て支援センター

地域課題解決プログラム

きららいおん



Poster for Kirara 2024, featuring a yellow background and various photos of people in red shirts. The text includes:

- 希楽々は今年ど21歳
- 春 (Spring)
- 夏 (Summer)
- 秋 (Autumn)
- 冬 (Winter)
- いまでも。これからも。 (Still. From now on.)
- NPO 法人 希楽々 2024
- QR codes for HP, Instagram, and 公式 LINE (Official LINE)
- Address: 〒959-3423 新潟県村上市九日市 501 番地 神林総合体育館内
- TEL: 0254-66-8119 FAX: 0254-66-8112
- E-mail: kirara_kamihayashi@kirara-kamihayas.sakura.ne.jp

注力する地域課題解決プログラム

KIRARA

子どもの放課後「アフタースクール」

買い物支援「ささえ隊」

商業施設活用プログラム「おでかケア」

高齢者の社会参加プロジェクト

障がい者の放課後「きららタイム」

「融合型部活動」



「子どもたちが困っているから」動いた

KIRARA

'05	部活動にない種目を希楽々のサークルとして活動
'12	「新しいカタチの部活動」始動…部活動に準ずる活動
'16	市教委に「学校と地域で部活動の運営を検討する機会創出」提案
'17	村上市部活動在り方検討委員会の設置
'18	スポーツ庁「総合的なガイドライン策定」で「融合」提案 スポーツ庁「部活動改革プラン」採択 「融合型部活動」の仕掛け開始
'19	融合型部活動運営協議会の設置 コーディネーターの配置 「融合型部活動」の実践 第1号「Hangout」始動 指導者の資質向上の取組



クラブ主導で多様なアプローチで「思い」を「公」へ結んだ

'20	融合型部活動3種目実践 休日の地域移行開始(3種目) 運営団体&実施主体の明確化 「指導者育成プログラム研修会」の開催と受講義務化 市教委へ「推進体制」の提案と予算要求 総括運営団体と総括コーディネーター配置で総括管理
'21	学区や地区を超えた合同会議と「種目別ワークショップ」の開催 クラブ財源で「校内合同部活動」の実施 引退した3年生の活動の場確保とクラブ財源でユニフォーム 後出しの国のガイドラインとのマッチング
'22	村上市「推進計画」の策定・・・融合型部活動の推進 中学校の方針策定

村上市「融合型部活動」の現状

KIRARA

‘23 市内融合型部活動 8種目13活動
中体連大会参加認定 出場(3種目4活動)

’24 市内融合型部活動 9種目19活動
平日及び休日の活動 部活動と融合型の総量管理
指導者 97名 兼職兼業 15名
「合同会議&種目別ワークショップ」の開催 種目ごとの拠点化
重点施策による政策課題解決の取組

- ・スポーツ振興者の活用による移動検証
- ・障害の有無に関係ないインクルーシブな活動
放課後デイサービス、特別支援学校との連携
「楽しい運動教室」「楽しい陸上教室」
「パラアスリートによる体験会」



課 題	部活動からの脱却 学校・地区を超えたエリアマネジメント 持続するための財源の考え方
これからのカタチ	村上市の運動部活動は令和8年度より完全移行 「融合型部活動」は総合型クラブの自主事業として運営 総合型クラブとスポーツ少年団の融合 融合型部活動とスポーツ少年団の統括的な支援体制 1種目1チーム化

- ◎「地域移行」はあくまでも契機
- ◎「移す」から「創る」フェーズへ



「若者がいない！」

KIRARA

平成28年度

若い職員を連れて参加した時の一言
「若者がいない！」

平成29年度

若者の参加促進の取組開始

①新潟県総合型クラブ連絡協議会

テーマ：「第1世代と第2世代が共に育つ」

若手が抱える不安や本音

ベテランから若手に伝えたいこと

②北信越NWA2017

テーマ：「総合型クラブを継承するには」

～創業の思いを引継ぐ世代交代の在り方



若者の参加促進と参画機会の創出

KIRARA

平成30年度

北信越NWA2018

テーマ

：「総合型クラブの世代交代を見据えた人材育成」
世代交代を意識したクラブの若手とベテランの
対談

「何を伝えたかったか」

「何を伝えてほしかったか」

若手スタッフの成長の軌跡発表

同世代同士の成長の振り返り

異世代間での成長の振り返り



若者の参加促進と参画機会の創出

KIRARA

令和元年度 北信越NWA2019

「マルチマーケット」と題し、21クラブによる多様な
ショップ開店でたくさんの人の参画の場創出
100名の参加
若者の参加率増加
「若者プロジェクト構想」



「若者プロジェクト」キックオフ

KIRARA

令和3年度

北信越NWA2021

目的:若者の参加促進

これからの総合型を考える機会

NWA終了後の横のつながり

若者の成長がクラブの発展に

進め方:若者Pの位置づけ 実行委員会で提案➡承認

実働:各県より若者メンバーの選出

オンラインによるミーティング(6回)

「マンドラチャート」によるアクションプラン

事前ミーティングによる学び

NWA当日の運営サポート

「若者プロジェクト」出番 & 役割

KIRARA

令和4年度 北信越NWA2022

- ・各県より若者メンバーの選出
- ・オンラインによるミーティング(6回)
- ・「マンドラチャート」のその後
- ・事前ミーティングの効果
- ・NWA当日の運営サポート
- ・登壇
- ・「若者の主張」プレゼン
- ・グループワークでファシリテート



「若者プロジェクト」企画

KIRARA

令和5年度

北信越NWA2023

各県17名で構成

開催県よりプロジェクトリーダーの選出

若者Pメンバーによる企画

2日目のプログラムを任せる

- ・若者によるリアルな「デモトーク」

- ・人材育成、クラブ運営

世代交代等について

「若トーーーク」

- ・気になるあのひと

「フリートーク」



令和6年度	北信越NWA2024 テーマ:「人が育ち クラブが育つ」 ・独自プログラムの1つを若者Pチームが担当 ・各県より次世代を担うメンバーの選出(各1名) ・開催県の若者Pメンバー＝リーダー ・5名で企画 ・サポートメンバーを各県より選出(各2名) ・事前ミーティング ・当日の運営 ・NWA終了後の継続的な関係へ
-------	--

過程の中で色々な変化が生じる
人・組織のルール
時には理念さえも見直すことがあるかもしれない

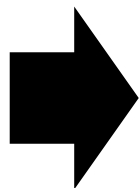
その都度、必要な変化を遂げることで
組織は生き生きと生まれ変わる

新しい組織体制
若い人材雇用
「新しい風」

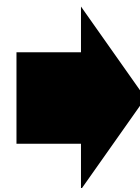
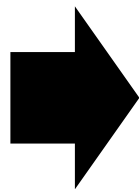
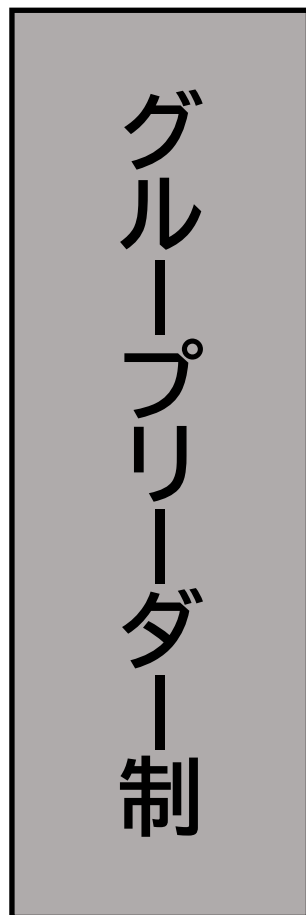
役員改革(平成18年度)



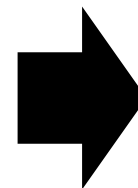
初期体制



人材育成



応用力



固定化した組織を放っておくと時間の経過で硬直化する

メンバーの行動がワンパターン化
互いに情報伝達しなくなる

メンバーの考え方の均質化
お互い刺激がなくなる

メンバーの中に縄張り意識がおき、マンネリ化

知らず知らずに「見えない壁」を作り上げる

提案しても聞き入れてもらえない 言いたしっぺが損をする

上司に言っても受け入れられない➡気力低下、無気力状態

持続的成長の基盤整備

KIRARA

平成27年度

組織の再構築

情報共有の不足

➡インフォーマルな関係

意思決定プロセスの見える化
レポートラインの確立

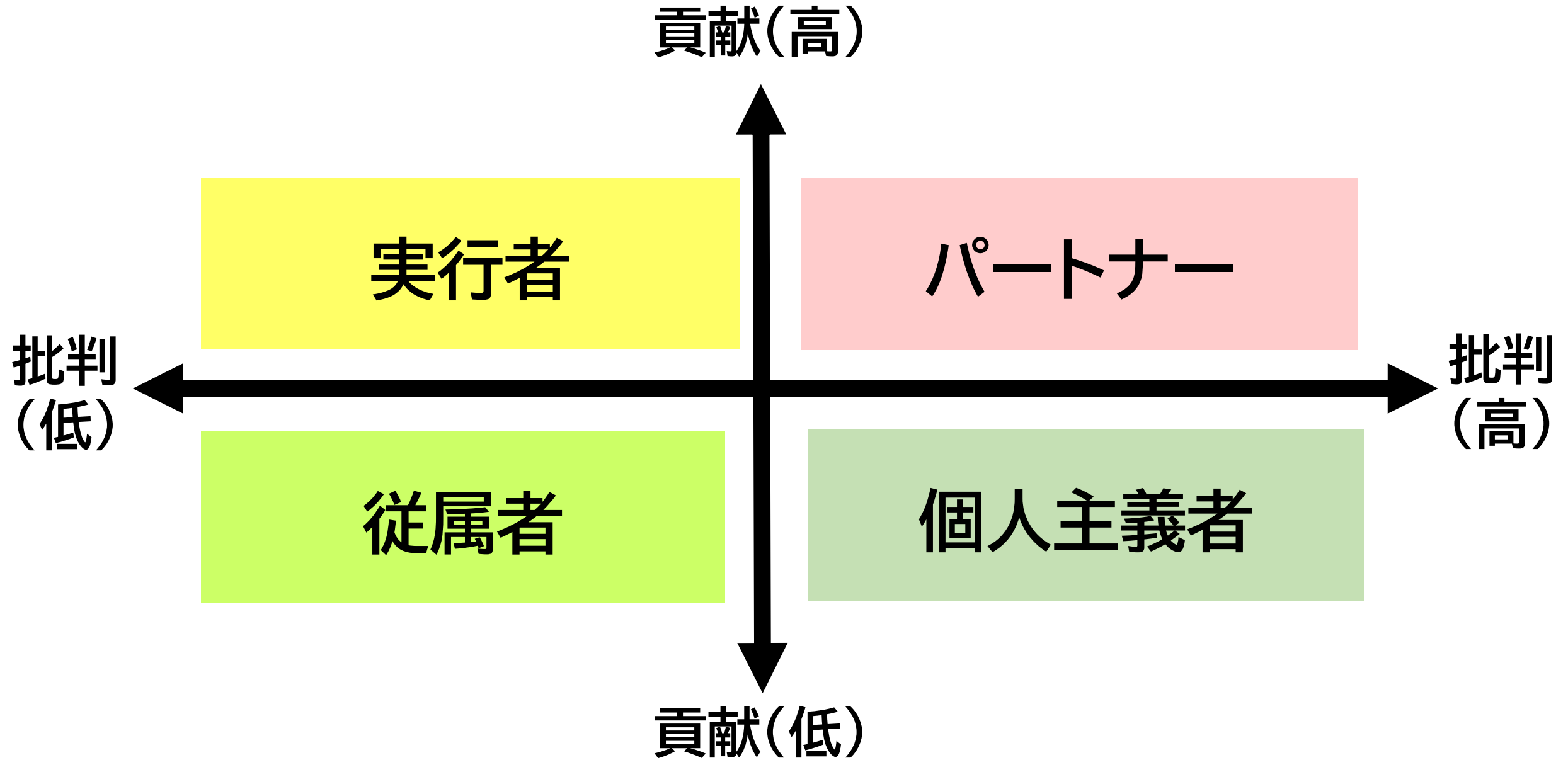
役割の明確化

ありたい姿

スタッフ相互の信頼関係



20代:3名 30代:3名
40代:1名 50代:2名



フォロワーシップとリーダーシップ

KIRARA

優れたリーダーは
優れたフォロワーがいてこそ
そのリーダーシップを
発揮できる

フォロワーは
信頼、気遣い、価値観、希望を
リーダーから
受けたいと思っている



働きやすい職場環境づくり

KIRARA

令和3年度 ハラスメントについての研修会の開催(社労士)

職場環境チェック(アンケート)の実施 全52項目

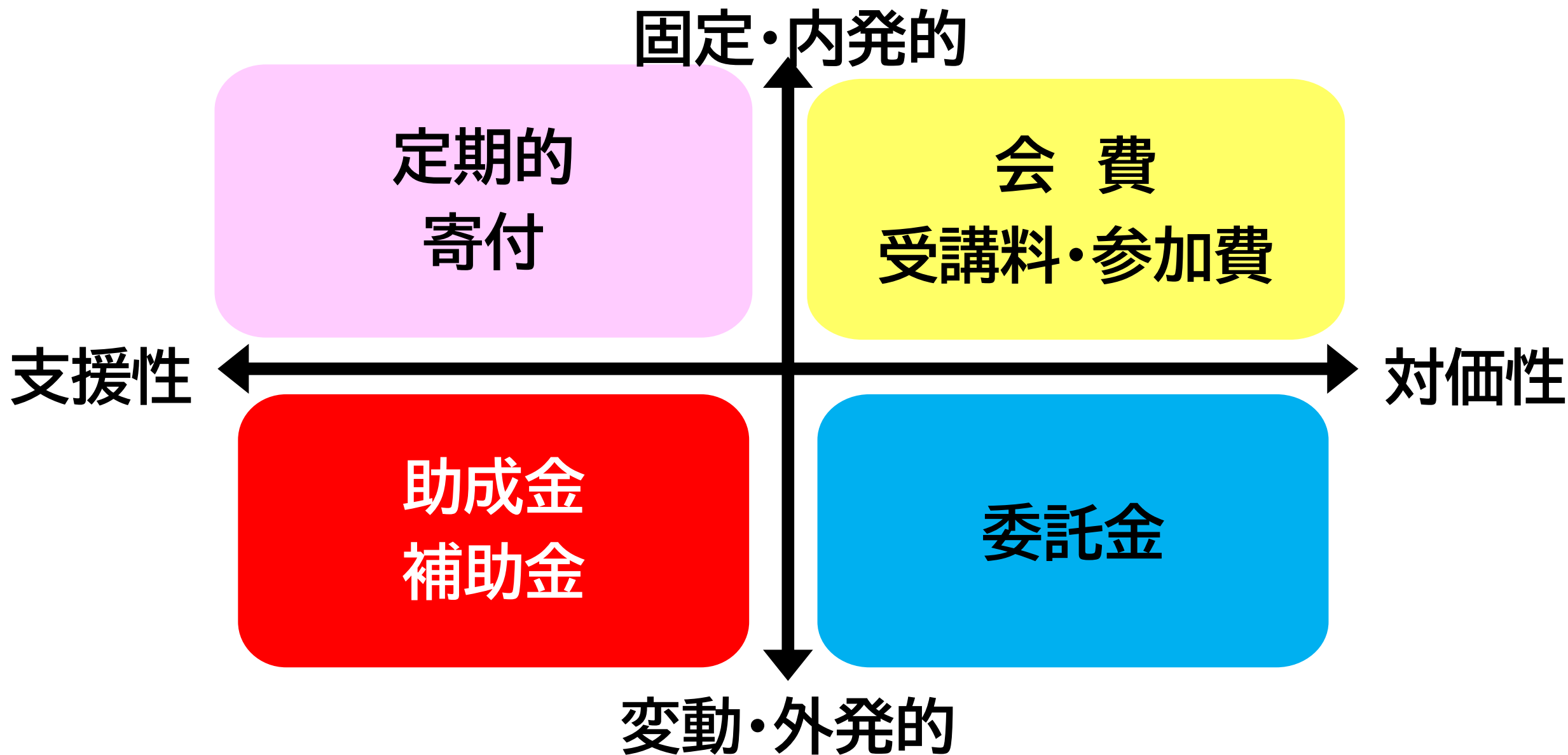
No.	内 容	はい	いいえ
9	部下を指導していて泣いたことがある	1	10
41	私はパワハラを絶対しない自信がある	3	8
43	自分より能力がない人が自分より高い給料をもらっていると 感じる		
44	部下を指導中に反論されるとイライラする	5	5
48	自分の指導が部下に伝わっていないと感じることがある	6	5
50	部下に「ありがとう」の感謝を伝えることが多い	8	3
51	自分が間違えた場合、部下に「自分が間違っていた」と認めた	10	1
52	部下の誤字を見つけるとイライラする		全

「公益性」・・・広く社会のために

「経営体」

- ・人財育成
- ・次世代が生業として選択できる職場
- ・職員の待遇
- ・自助努力による自主財源の確保
- ・自走できる体力

そう考えると 「**稼がなければならない**」



ビジネスプランに基づいた戦略 「10年後をどう描けるか」

人財:

- ・参加する人・・・喜んで対価を払ってもらうこと
- ・参画する人・・・必要とし、出番をつくること
- ・勤務する人・・・頑張りをカタチにすること

場所: 体育施設でなくてもいい

財源: 待っていないでつくるもの

手法: スポーツからの脱却



コロナ禍で「今だ」と思った

KIRARA

「何ができるか」ピンチをチャンスに変える

令和4年度からの「年会費無料化」の実施

コロナ禍

- ・会員、非会員問わず参加できる事業
- ・会員の特別割引の廃止
- ・帰属意識は大切

組織内では反対意見
事業シュミレーション

結果的に、会員が増え、収入が増えた



平成26年度から「人事考課」の実施

自己診断シート&個人面談

給料表に基づく基本給

資格手当&役職手当

昇給&期末賞与(毎年度)

R4 役職の変更

- ・月額30,000~50,000円の昇給
- ・CM・・・年齢＝給料の実現
- ・パート職員にも特別手当

R5 正職員全員に10,000~20,000円の昇給

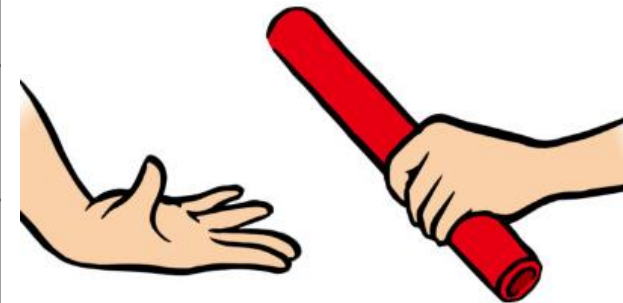


資格の樹

バトンタッチスケジュール

KIRARA

平成30年度	後継者の確定
令和元年度	ココロの整理
令和2年度	5年後引退表明
令和3年度	業務の移行開始
令和4年度	公認クラブマネジャー取得
令和5年度	GM・CM・SM体制
令和6年度	最後に「伝えたいこと」
令和7年度	バトンタッチ



職員に伝えたい必要なチカラ

KIRARA

ポジティブシンキング・・・成功のイメージを持つこと

逆境力・・・マイナスをプラスに変換すること

先行力・・・先に動くこと

妄想力・・・構想ではなく妄想がいい

人に頼る力・・・1人でやらないこと

傾聴力・・・話をしっかり聞くこと

ホメ力・・・良い所を見つけて褒めること

熱を伝える力・・・想いを伝えること

ひとは財産です
大事に育てましょう

そして
自分のファンを増やしましょう
そして
自信があればあるほど謙虚であれ



この両方が大事！

KIRARA

「公益性」と「経営体」